

Music fusion
in
Kyoto

Margazhi
Japan
2026

京都公演

南インドの古典音楽一流アーティスト / 兄弟デュオ 来日公演

南インド古典音楽

- 響き合う未知なる共鳴 -

トリプルブラザーズ Trichur Brothers
スニルクマール Sunil Kumar

トリプルブラザーズ Trichur Brothers
シュリクリシュナ Srikrishna

ヴィジャヤプラサド Viji Nagesh

スニルクマール
Sunil Kumar (カンジョウ)

Opening Act

南インド古典舞踊 (カウチカティヤム / 南インドの古典舞踊)

南インド古典音楽
(Carnatic Music)

南インドの古典音楽は、もとは個人の祈り・献身を歌にしたものが、現代にいたるまで歌い継がれている。その起源は二千年以上のバロモン教・ヒンドゥー教の聖典ヴェーダにあるとされる。メロディー体系「ラガ(Raga)」とリズム体系「タラ(Tala)」の二つの独自の概念を根幹にした、ヒンドゥー教の宗教音楽ではあるが、高度な理論と技術をもとに、芸術音楽としても聴かれ愛されている。その歴史的かつ科学的な音楽性はジャズ・ギタリストのジョン・マクラフリンなどをも魅了した(英印合同 Indo-Jazz Fusion グループ「Shakti」の結成など)

文様さぶる音楽とリズム
南インド古典音楽を聞いてみよう!

前売り券 4,500円 当日券 5,500円
(16歳~22歳 / 前売り券 2,000円 当日券 3,000円)

●15歳以下は無料(15歳以下の無料券はPeatixまたはメールで申し込み下さい。)

京都府立文化芸術会館友の会の方は、前売り券 4,000円

【チケット申込方法】

Peatixチケット購入サイトQR ▶

■Peatix チケット購入サイト <https://117kyoto-kouen.peatix.com>

■チケット申込メールアドレス tamil.ccsalon@gmail.com (モガリ) まで。

※件名を「117京都公演」として、お名前、人数、メールアドレスをご明記ください。

メール申込後、折り返し事前にご入金いただくため振込先をお送りします。

※メールでの受付は10月31日(土)までです。

チケット申込メールアドレスQR ▶

Peatix、またはメールでの申込票に「整理番号」をお伝えします。当日、開場10分前より番号順にお並びいただき、チケットを配布後ご入場いただけます。

■京都府立文化芸術会館にて、一般 4,500円、友の会 4,000円の前売り券のみ販売します。

2026年 **11月7日(土)**
17:00~19:30(開場16:30)

会場:京都府立文化芸術会館
京都市上京区東桜町1
(河原町通広小路下ル)



トリシュール・ブラザーズ Trichur Brothers



ラーム कुमार Ram Kumar シュリクリシュナ Sri Krishna

Music fusion
Kyoto
日本
Margazhi
Japan
2026

京都公演 南インドの古典音楽一流アーティスト／兄弟デュオ 来日公演

南インド古典音楽

- 響き合う未知なる共鳴 -

兄シュリクリシュナと弟ラーム कुमारの兄弟によるボーカルデュオ。幼い頃からムリダンガム奏者である父よりカルナータカ音楽の英才教育を受ける。信仰心と情熱に溢れる熱く美しい歌唱と、弟の兄弟ならではの思ひのあったコンビネーションで魅せる。ユニゾンで歌う既存のボーカルデュオのスタイルをより発展させ、互いにフレーズのやり取りをしながら旋律を紡ぎ、インド古典音楽には本来無い「ハーモニー」を西洋音楽とは異なる味付けで取り入れる独自のスタイルを確立。二人の声が共鳴して響き合う瞬間には、机上の世界が現出する。数米や東南アジアなど海外公演歴も多数あり、アメリカのチャーター・アラダン（クリブランド）やシボニー・ミュージック・フェスティバルなどの音楽祭にも出演。ケニア・ナイロビでも演奏の機会に迎えられてのコンサートを行った。インドの首相ナレンドラ・モディ首相が提唱したガンジス川を清くする国家プロジェクト「ナマミ・ガンガ」では、公式テーマソング「ナマミ・ガンガ(Namami Ganga)」を作詞。首相のドバイ訪問時に、5万人を超える観衆を前にこの曲を披露した。



【カンジラ】
スニル・ कुमार Sunil Kumar

も認定される。2011年、ムンバイで開催された伝統的タブラ奏者ザキール・フセイン主催の音楽祭にセルヴァガネッシュと共に出演。2018年にはカルナータカ音楽の劇型チャヤガラージャの名を冠した音楽祭に出演。その演奏の様子がインド全土に放送される。現在でもカンジラ、タヴィルなど複数のパーカッションを演奏し、マル手など楽器を奏する若手の有望株。

幼少の頃から、僧侶にて演奏されるタヴィルという太鼓の奏者である父シェーカーの指導の下、カルナータカ音楽のリズムの基礎とタヴィルの演奏方法を学び始める。その後、カンジラのV.セルヴァガネッシュにカンジラを学び、希少の器太鼓タムの伝道者ジャック・ヴィナーヤクラムにコナッコールを学ぶ。タミル・ナードゥ州立音楽大学のソロ演奏コンクールで一位を受賞するなど顕角を現わし、オール・インド・ラジオのAグレード・アーティストにも



【タヴィル】
ヴィジャヤナートム Vijay Nattham

2019年にはトップグレード・アーティストとして認定。インド文化省からの奨学金を受けムリダンガム研究も行った。師匠がボーカリストとして期には必ず伴奏し、最高の現場レッスンを受け続けている。1989年には北インド古典音楽の音楽家である国家のバンドリット・ジャスラジのアメリカツアーにも参加。またTV番組にも出演するなど、幅広く活躍するムリダンガム奏者。

丘道から南インドの南面太鼓「ムリダンガム」を習い始め、一年後にはその才能の片鱗を見せ、師T.B.ナンダクマルの打楽器アンサンブルにて師と共に、師のアルバム「Jewels of Rhythm」でもヴィジャヤの演奏を聴くことができる。その後都府ムリダンガム奏者でボーカリストでもあるT.V.ゴパラクリシュナン師に師事。作奏のスキルや細やかなニュアンスを伝承、日々磨きあげている。2009年から全インド・ラジオのAグレード・アーティストとして、

オープニングアクト 西日本バラタナティヤムチーム

タミル文化紹介の活動をするタミル文化交流サロン(代表/モリ真奈美)主催で開催した「バラタナティヤム・フェスティバル」(2024年)を機会に西日本で活動するバラタナティヤムダンサーが集まり、その後チームとして関西各博覧会・フェスティバル・イベントなどに活動を広げている。舞踊家はそれぞれがチャレンジャーで、日本で後進の育成やパフォーマンスなどの活動をしている。



ガヤ・トランコ
Gaya Toranzo
タミル・アート・カンパニー



福田麻紀
Fubata Maki
タミル・アート・カンパニー



かるら
Kanpa
タミル・アート・カンパニー



松下陽子
Matsushita Yoko
タミル・アート・カンパニー



ルタミニ・ナオコ
Fukumoto Haruko
タミル・アート・カンパニー



金澤倫子
Kanazawa Michiko
インド・アート・カンパニー



モリ真奈美
Morita Manami
マルガゴニティー

南インド古典舞踊 (バラタナティヤム・Bharatanatyam)

神々の交流手帳として、寺院に置かれた「デーヴァダーシー」(神様の召使)による舞が始まりとされてお祀り。紀元前1世紀頃には、音楽と舞踊の経典「ナタヤ・シャーストラ」が書かれている。現在では19世紀初め頃、神への祈りや讃歌、神話の表現を留めつつ、舞台芸術として磨かれ、現在では全世界に広まっている。華やかな衣装と、微細な動き、優雅なポーズ、ダイナミックな全身の動きと、視覚、聴覚、感情や物語を表現する複雑な動きが特徴。

HARIMA
Japanese Restaurant

日本料理 播磨

日本人オーナー・日本人シェフ 本橋日本料理店
《インド・バンガロール店》
4th Floor, Devatha Plaza
131 & 132, Residency Road,
Bangalore, India
www.harima.in



《ネパール・カトマンズ店》
The Vannasut Hotel & Spa
4th Floor, Boudha
Kathmandu, Nepal
www.thavannasut.com



DAINA

株式会社 ダイナ

DAINA CORPORATION Ltd.
CORPORATION 日本発・インド向けの中古プレス機 専門商社

兵庫県神戸市中央区新港町13-2-1511 daina.corp@gmail.com



日本とインドの絆を結ぶ、文化と経済の架け橋



日本インド文化経済センター
Nippon Indo Cultural and Economic Center



インドへ、新しくなったエアインディアで

新機材アトリウム、新機材、ムンバイ・ニューデリー線
ご予約は日本航空のホームページ www.airindia.com/jp/ja.html まで

AIR INDIA

